

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

デジタル技術が経営改革の最終兵器 エリック・ストルターマン (米インディアナ大学教授)

1. 情報技術 (IT) 業界で叫ばれるデジタルトランスフォーメーション (DX)。最初にこの概念が提唱されたのは2004年。米インディアナ大学教授のエリック・ストルターマン氏こそが、デジタルトランスフォーメーションという言葉の提唱者である。当時、人々はアナログな生活を送っていた。
2. 人々の暮らしをデジタル技術で変革する。それがDXの原点だ。この概念はあまりにも広い。どうビジネスの現場に落とし込めばいいのか。学校という施設に集まることが前提だった教育が、オンライン化でその姿を大きく変えようとしているのと同様、ビジネスの世界におけるDXの本質は、企業がデジタル技術を駆使して劇的な変化を主体的に起こそうとすることだ。
3. デジタルツールを使って業務の効率化や生産性向上を目指す従来の経営改革の考え方とは次元が違う。モノやサービスの売り方も、モノの作り方も、働き方も、あらゆるもののやり方を変えてしまう。DXは、いわば、経営改革の最終兵器だ。

(参考:「日経ビジネス」2020年3月30日号)

経営者のための理念・哲学

社会が混乱する時こそ「利他の精神」を 鶴飼秀徳 (正覚寺副住職)

1. 春分の日とその前後3日間は「お彼岸」と呼ばれる時期である。「彼岸」は仏教用語だ。迷いの世界であるこの地(此岸)に対して、「苦のない悟りの世界＝向こう側の世界」を指す。寺はいかなる時も常に人々に門戸を開いてきた。仏事を通して人々の不安を解消し、様々な想いを共有する場として機能してきた。
2. 結果的に「共生」の意識が生まれ、助け合いの精神が生まれ、地域社会の安定に寄与してきた。これこそが仏教でいう「利他の精神(自分より他者を優先する考え)」である。一方で、都会ではどうか。コロナ騒ぎでマスクやトイレットペーパーの買い占めが起き、電車の中で咳をしただけで煙たがられるような殺伐感が漂っている。利己主義の極めであろう。

(参考:「Wedge」:2020年5月号)

経営者のための危機管理

「かつて銀行が本業だった」を目指す 吉村 猛 (山口FG社長)

1. 地方創生においてメインプレーヤー自体が、人口減少や高齢化でシュリンクしている。産業を興したり育成したりするフロントに、銀行が出ていくことが必要だ。地方銀行として、地方との関係が希薄になるというのは致命的なことだ。銀行員なので銀行業しかやらないというのではなくて、もう少し踏み込んで前に出たい。
2. 山口フィナンシャルグループ (FG) は、YMF Gゾーンプランニングという、地元自治体や中小企業との連携強化に向けた完全子会社を設立。山口県内の自治体などとグループの銀行との間で、相次いで包括連携協定を結んだ。そうした中で、2017年に山口県とタッグを組んで立ち上げた新会社が、地域商社やまぐちだ。「かつてYMF Gは銀行が本業だった」を目指す。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年4月11日号)

古典に学ぶ

気位が高いのも元気

(解説) 人と争って自分が間違っておいても強情を繰り返す。これが元気がよいと思ったら大間違いである。それはすなわち元気を誤解したのである。気位が高いということも元気であろう。福沢先生のしきりに唱えておった独立自尊、この自尊などもある場合には元気ともいえよう。みずから助け、みずから守り、みずから治め、みずから生きる。これらと同様な自尊なればよい。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)